

Kracie 強み 2

多彩なビジネス展開・ バリューチェーン構築力

クラシエが展開する3事業は、それぞれ異なる特徴のバリューチェーンを持ちながらも、3事業を横断する基礎研究や事業領域の枠を超えた協業の可能性へも挑戦しており、多彩なビジネス展開と「人」と「暮らし」に寄り添う商品の提供に最適化したバリューチェーンの構築に取り組んでいます。

クラシエのバリューチェーン

クラシエのバリューチェーンは本来、トイレタリー・コスメティックス、薬品(漢方薬)、食品という、ものづくりや市場背景の大きく異なる3つのカテゴリに対して、それぞれ特徴の異なる製販一貫体制を構築してきました。そこに内在する個々の技術やノウハウなどを有機的に結集することで、よりレベルアップしたバリューチェーンの構築や「医食美・快適」領域への挑戦などを実現できることが、強みと言えます。



研究開発体制

「暮らし」に寄り添う多彩な商品を提案し届け続けるために、基盤研究と応用研究の両面で最新の技術を追求しています。研究開発のスピードアップに向けた産学連携や協業を模索すると同時に、「医食美・快適」領域の強化に向けた研究開発体制の最適化にも取り組んでいきます。例えば、漢方薬の品質向上に欠かせない薬の有用性の研究、安全リスク対応力強化のための分析技術、物理的刺激による肌・毛髪の保湿機能への影響などのメカニズムの解明、ユニークな商品アイデアの実現に重要な剤形コントロール技術の開発など、患者さんへより良い製品をお届けするために研究開発に取り組むことが、新たな価値を生み出す原動力となっています。



生産体制

クラシエでは、国内の自社5工場を中心に高品質と適正コストを徹底的に追求すると同時に、手に取る人が安全・安心な状態で使うことができるように、商品の品質管理に万全の体制を構築しています。トイレタリー・コスメティックス工場ではISO9001(品質マネジメントシステムに関する国際規格)、薬品工場では医薬品GMP(医薬品の製造管理および品質管理に関する基準)、食品工場ではFSSC22000(食品の安全性を確保するための国際的管理手法に関する国際規格)などの品質保証基準に基づく生産体制により管理されており、国内外の協力工場も含め、お客さまに安心してご使用いただける安全性と品質の確保に努めています。

販売体制

クラシエでは、事業特性に応じた専門性の高い営業活動を行うため、事業ごと、ビジネスモデルごとの販売体制を敷いています。一般消費者向けの事業では、各卸店、小売企業の営業担当者に加えてフィールドスタッフを配置し、売場づくりや売り方の提案をきめ細かくサポートする体制を構築するとともに、消費者へ向けた提案力をさらに高めていくために、事業合同プロモーションなど横断的な営業活動も行っています。また、医療用や業務用の事業では、専門性の高い情報などを代理店や卸企業と協働して、全国の販売先にお届けするための営業体制を構築しています。

Kracie
強み
2 多彩なビジネス展開・バリューチェーン構築力
クラシエの漢方

クラシエは、安全・安心で一定品質の漢方薬を生活者・患者さんにお届けすることを何よりも大切にしています。この実現のために、原料調達から最終製品に至る工程を一貫体制で厳密に管理しており、工程ごとの品質試験に合格した製品のみを出荷しています。



漢方薬の原料となる生薬は、植物の葉・茎・根や鉱物などの天然物です。長い歴史の中で薬効が認められてきたものですが、自然由来であるため、気候や土壌の影響を受けやすく、品質を安定させるのは容易ではありません。クラシエでは、品質変動を抑え一定品質の生薬を安定的に確保するために、産地を指定し、採取時期を定めて集荷しています。さらに、集めた生薬は成分の溶出が安定するよう一定の粒度に刻み加工を行い、刻み生薬となります。

刻み生薬を、エキス粉末に加工していきます。まず生薬を秤量し、熱水によって有効成分を抽出します。その後、濃縮・殺菌・乾燥を経て粉末状に仕上げます。エキス粉末への加工は、クラシエの一定品質というこだわりを実現するための肝となる工程です。長年のノウハウに基づき、各工程の温度・時間などはコンピューターで厳密に制御し、成分のばらつきを抑えることで、有効性および安全性の基準を満たす一定の品質を実現しています。

エキス粉末を、細粒・顆粒や錠剤などの飲みやすい剤形に加工し、スティックやパウチ、瓶などに充填して、最終製品へと仕上げていきます。クラシエの特長は、多様なニーズにお応えするバリエーションに富んだ剤形・包装形態にあります。医療用医薬品とOTC医薬品双方を提供するクラシエだからこそ、品質はもちろんのこと、生活者に寄り添った製品設計を行うことも大切にしており、一貫体制を構築することで実現しています。最終試験を終え、完成した製品は配送センターから出荷し、薬局・薬店、医療機関を経て、生活者・患者さんのもとへお届けします。

品質へのこだわり

▶ クラシエの品質ポリシー

クラシエは、生活者に寄り添いたいという想いを胸に、漢方薬に向き合い、その証である製品の製造および一定品質の確保に真摯に取り組んできました。医薬品である漢方薬を製造するためには、医薬品GMPという国が定めた基準に適合していることが必要となります。この基準には、誰が、いつ作業しても、必ず一定品質の製品をつくるために行うべきことが定められており、クラシエはその法的基準を遵守しています。また、原料となる生薬の受け入れ時、刻み加工後、エキス粉末製造後、エキス製剤製造後、充填・包装後など製造工程の各段階において適切な品質試験を行っています。例えば、生薬には薬効を代表する成分だけでなく、さまざまな成分が含まれており、漢方薬はこれらの成分が相乗的に作用していると考えられています。そのためクラシエでは、代表成分に加え、多成分の品質評価・分析をしています。そのほかにも、飲みやすさに関わる評価、残留農薬や微生物等の安全性に関わる評価など、各段階で適切な試験・規格を設定し、厳密に実施することで、安全・安心な漢方薬をお届けしています。



Kracie 多彩なビジネス展開・バリューチェーン構築力

強み 2 生産能力の拡大に向けた拠点の再整備と次世代化

クラシエでは次に目指す「医食美・快適」領域に向けて製造機能の強化を進めています。食品事業においては、京都府福知山市に、成長性の高い知育菓子®の新工場を建設。供給能力の増強と生産効率の向上を目指します。

背景

知育菓子®の認知度向上に伴い、商品ラインアップも拡大していることから、生産体制の強化が課題でした。知育菓子®生産工場は、大阪府高槻市と京都府福知山市の2工場で開催していましたが、その集約による製造拠点の再整備を決定しました。また、新たな製造設備の構築においては、他事業で培った製造ノウハウを活用しながら、クラシエのものづくりの総力を形にした次世代型工場を建設しました。



京都工場の概要

所在地	京都府福知山市 長田野工業団地内
敷地面積	25,646m ²
延べ床面積	14,579m ² (鉄筋2階建て)
操業開始	2025年12月(一部)
製造品目	「ねるねるねるね」 「おえかきグミランド」 「ポップンクッキン」シリーズ等の 知育菓子®



次世代化のポイント

京都工場では、生産能力の拡大に対応するために、可能な限り多くの工場内作業を自動化・省人化しています。また商品を実際に手に取るお客さまへの情報発信や環境負荷の低減など、工場そのものがクラシエの企業活動や価値観を体現する「魅せる工場」の役割を果たしています。



POINT 1

製造ラインの自動化

知育菓子®は品種やパーツが多く、製品の改装も頻繁に行われるため、これまでの自動化設備は一部の工程に限定されていました。京都工場では、小袋充填時の粉体供給やトレイへのパーツ投入などの工程を可能な限り自動化し、安定的な生産体制を構築しています。また、粉体を運搬するコンテナ装置は使用のたびに洗浄が必要ですが、大型のコンテナ自動洗浄設備を導入して省エネ・節水・省人化を実現しました。



POINT 2

工場内物流の自動化

京都工場では、工場内物流の合理化・最適化にも取り組んでいます。小袋などの中間製品や包装資材用の自動倉庫と、製品用の自動倉庫を工場内に配置し、原料・資材の入荷から製品の出荷までの動線に無駄な流れを極力排除したレイアウトとしています。また、製品が入ったダンボールをパレットに積載した後は、自律走行搬送ロボット(AMR)で製品用自動倉庫に運搬するなど、最新技術を取り入れた搬送体制としました。



POINT 3

魅せる工場

京都工場では、お客さまや取引先などさまざまなステークホルダーをお迎えして知育菓子®の楽しさを知っていただける仕掛けを用意しました。施設内はコーポレートカラーであるたんぽぽ色をキーカラーとし、知育菓子®の仕組みや製造工程を知っていただくためのゲームや動画、クラシエの知育菓子®づくりにかける想い、CO₂排出削減の取り組みなどのコンテンツをご用意いただけます。また、見学者通路からは実際の製造工程の一部をガラス越しに見ることもできます(一般公開の時期は未定)。